

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	永野志保 東祥三 平野健太郎 松尾聡美 湯澤美芽	使用教科書「Vision Quest II」(啓林館) 補助教材 「Voice Listening Course 3, 4」(第一学習社) 「Vintage 英文法・語法」(いいずな書店) 「Vintage 準拠ドリルNavigator」(同上)
○必修 学校必修 必修選択 自由選択		

## ◆学習の目標

自分の考えや自分の身の回りのことなどを英語で表現したり、様々な話題について発表や議論をする力を伸ばすため、1年次に学習した基本文法を土台としてさらに発展的な語彙・表現を身につける。

## ◆主な学習内容・方法

- ・教科書「Vision Quest II」を主に用いて、重要頻出表現、文法を定着させる。
- ・「Voice Listening Course」を用いてリスニング力の基礎を固めると同時に、大学入試レベルに対応できる演習問題にも取り組む。

## ◆到達目標と評価の観点

- [標準] ・さまざまな英語表現を場面や機能に応じて使い分けられる。  
・簡単な会話やパッセージを聞き取り質問に答えることができる。  
・発音記号を正確に読める。
- [応用] ・パラグラフライティングを学び、まとまった基礎的な英文を書く力を養う。  
・大学入試レベルの英作文問題に対応できる。
- [評価の観点]  
・上記[標準]の到達目標に基づき、「知識・理解」「表現・運用」「関心・意欲・態度」の観点から評価する。

## ◆評価の方法

定期考査、提出課題、小テストの成績、授業への参加を総合的に評価する。

## ◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期(26時間)	2学期(28時間)	3学期(16時間)
------	------	-----------	-----------	-----------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Vision Quest II」 【予習】各レッスン左ページの例文を参考にして、右ページの練習問題を解く。 【授業】問題の答合わせをしながら、自分の理解を確認する。 【復習】自分の理解が不十分だった内容について「ブレイクスルー総合英語」の該当箇所を参照し、「Vision quest ワークブック」にも取り組んで知識の定着を図る。</li> <li>・「Vintage」 別途示される進度計画に従って、基本的な文法について復習し定着させる。</li> <li>・「Voice Listening Course」 【予習】基本的に予習は不要だが、発音記号のページを事前に読んでおくと良い。 【復習】授業で扱った内容を付属のCDを使って音読、シャドーイングする。</li> </ul>
---

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	注意すべきこと
1 学期	4	Vision Quest 1,2,8,9【中間】 3～7【期末】	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に英作文の演習を通じて基本的文法事項を項目ごとに復習し、入試発展レベルの問題演習まで行う。</li> <li>・場面や機能に応じた表現を学習し、定着を図る。</li> <li>・発音記号の読み方を継続的に学習するとともに、リスニングの基礎力をさらに固めていく。</li> </ul>	
	5	Vintage 1章～4章【中間】	8		
	6	5～7, 20章【期末】	8		
	7	Voice 3 (1～8)	4		
2 学期	8	Vision Quest 10～13【中間】 14～17【期末】	8	同上	
	9	Vintage 8～10, 21章【中間】			
	10	17～19章【期末】	8		
	11	Voice 3 (9～12)	8		
	12	Voice 4 (1～4)	4		
3 学期	1	Vision Quest 18～20	6	同上	
	2	Vintage 11～16章	8		
	3	Voice 4 (5～12)	2		

